

「これから」に備える生活の知恵

「保障の掛金は、どれくらいが安心?」「貯蓄とのバランスは?」
そんな悩みを、ファイナンシャルプランナーに聞きました。

監修



世継祐子さん
ファイナンシャルプランナー

福岡県出身。久留米市役所での勤務経験を経て、法政大学法学部を卒業。2002年にファイナンシャル・プランナーの資格を取得。企業や個人の顧問ファイナンシャル・プランナー、住宅ローンや保険相談、「ねんきん定期便のみかた」など、各種セミナーの講師も務め、年金や医療制度など社会保障制度を分かりやすく教えてくれる。テレビ・雑誌などのメディア出演も多数。

保障を選ぶ前に 知っておきたいこと

実際に負担する
医療費には
上限があります

「保障の掛金はどれくらいがいいんだろ?」「初めて保障を選ぶとき、誰もが迷うことかもしれません。突然入院することになって、払えないほどの医療費が必要になったら?と心配することはありませんか?医療費の自己負担は、原則として医療費の3割です。その3割の医療費が高額になったとしたら?」

これからの「万が一」をいろいろ心配する前に、国の補助や制度をちゃんと知っておきましょう!



心配ご無用。「高額療養費制度」によって、医療費の自己負担分には上限が定められているからです。

次ページの表をご覧ください。負担の上限額は年齢や所得によって異なりますが、この制度によって、70歳未満で所得区分「一般」の人は、入院時の食事代を加えても医療費は10万円を少し超える程度となります。この程度の貯蓄があれば、それほど入院の費用を心配することはないのです。

入院時の費用の清算は、通常退院す

るときです。一方、任意に加入している入院給付金や手術給付金などは原則退院後に手続きしてから支給となりますから、まずは病院窓口で支払うお金を最低限貯蓄しておきましょう。

在宅医療が増え 入院は減る?

2012年から、厚生労働省は在宅医療提供体制の整備に予算をあて、さまざまな施策を押し進め始めました。社会の高齢化がこの先もっと進んでいきます。医師の負担は増え、ベッドは足りなくなり、十分なケアが困難になることが予想されます。そのため、病院・病床機能を分化、医療機関・民間団体・地域住民が連携して在宅医療の充実と重点化を図ろうというものです。

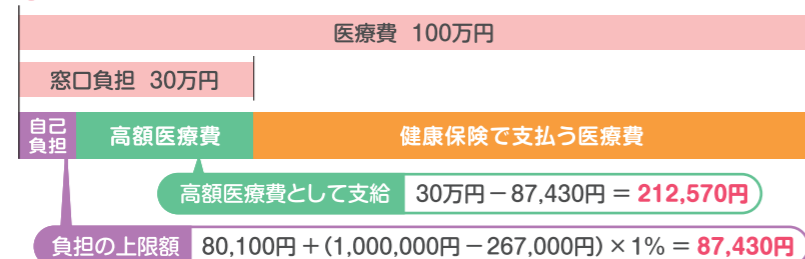
この政策がそのまま進めば、医師の往診が増え、今よりもっと入院期間は短くなっていくでしょう。そうすると、入院滞在費が高額になることも少なくなり、入院保障も必要以上に高額な保障を選ぶ必要はなくなるかもしれません。国の政策や制度は時代とともに変わっていくものです。その動きを常に眺めながら「これから」を考え、自分の加入する保障を選んだり、見直したりするのが、かっこいい生き方といえるでしょう。



必見 高額療養費制度ってこんな制度

医療機関や薬局の窓口で支払った額*が、暦月(月の始めから終わりまで)で一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です ※入院時の食費負担や差額ベッド代などは含まれません

例 100万円の医療費で、窓口の負担(3割)が30万円かかる場合



入院時は加入している医療保険から事前に「所得区分」の認定証を発行してもらいましょう!



212,570円が高額療養費として支給され、実際の自己負担は87,430円となります。

- 70歳以上は69歳以下よりさらに自己負担が軽減されます
- 複数回の受診や同世帯(同じ医療保険に加入している人に限る)のほかの人の受診で払った自己負担額を、1カ月(暦月)単位で合算し、その金額が一定額を超えたときも制度の対象となります

〈負担の上限額は年齢や所得によって異なります〉

例 70歳未満の場合

所得区分	1カ月の負担の上限額
上位所得者(月収53万円以上の人など)	150,000円 + (医療費 - 500,000円) × 1%
一般	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%
低所得者(住民税非課税の人)	35,400円

高額療養費の申請は?

通常は、医療費が高額療養費制度の対象であっても、病院の窓口でいったん3割分を支払います。その後支給申請をして高額療養費の支給を受けますが、加入する医療保険から事前に「所得区分」の認定証を発行してもらい、窓口での支払いを負担の上限額にとどめることができ、申請の手間も省けます。

「貯蓄力」を 身に付ける!

家計に優しい掛金で 貯蓄をキープ!

万が一の事態に備える保障はとても大切なものです。でも「ただ入っていいものでもありません。将来の備えのために、掛金の負担が家計を圧迫するほどの金額になってしまつては本末転倒です。また保障とは死亡や入院など限られた事態をカバーするのが目的で、ほかの「万が一」には対応できないのです。どのような「万が一」にも対応できる貯蓄をしっかりと増やしましょう。そして十分な貯蓄ができるまでの不足を保障で補うというのが、ベターな考えです。県民共済の割安な掛金は、家計のスムーズ化の強い味方となってくれます。

貯蓄に目的を

「なかなかお金が貯められない」そんな人は、貯蓄に目的を持ってみましょう。例えば「自分はどんなエンディングを

備えに必要な金額は人それぞれ。自分に合った金額で着実に!



迎えたか」を考えてみてください。自分の理想のお葬式や埋葬の形式を具体的にイメージしたら、それにはどれくらいの金額が必要になるかを把握できます。すると、何歳ごろまでにいくら貯める必要がある、というふうな計画性を持つて貯めることができるでしょう。「まだ自分のお葬式なんて現実味がなくて考えられない」という人は、40年先の老後資金作りを考えてみてください。でも、先のことばかりで今が楽しくなくて、貯蓄も続きません。将来の目的に備えた資金作りをプラスして、旅行やショッピングなど、今を楽しむための「自由度のある資金」を別に確保しておきましょう。具体的な将来のイメージを持って、計画的に貯める力を付けることが大切なのです。

